

地方創生事業の検証結果

〈地方創生関係交付金を活用した、または活用している事業〉

NO	① 事業名	② 所管課	③ 事業期間	④ 事業の概要	⑤ 実績額 (単位：円)	⑥ 本事業における需要業績評価指標 (KPI)				⑦ 本事業終了後における実績値		⑧ 事業実績の概要	⑨ 実績値を踏まえた事業の今後について (所管課)		⑩ 外部有識者からの評価		
						指標		指標値	単位	目標年月	実績値		事業効果	今後の方針	今後の方針の理由	事業の評価	外部有識者からの意見
						指標①	指標②	指標③	指標④	指標⑤	指標⑥						
1	鶴川商店街周辺観光拠点推進プロジェクト ○令和5年度地方創生推進交付金	活力創生課	R5.4～R6.3	大分空港の利用客、九州圏内の観光客等を新たに国東市に呼び込む新たな魅力を国東市の中心部（鶴川地域周辺部）に構築し、関係人口や交流人口の増加を図り、やがては移住定住につなげ、人口減少の抑制を図る。 【事業期間（補助）】 ○地方創生推進交付金事業：令和4年度～令和6年度 【内容】 1. 鶴川商店街観光拠点化構想事業 2. 鶴川商店街周辺環境活性化構想事業 3. スローツーリズム構想事業 4. 地場商品×地域資源による商品開発・特産ブランド開発	42,985,000	観光入込客数	900	千人	R6.3	837	地方創生に相当程度効果があった	1. 鶴川商店街観光拠点化構想事業 6250千円 ①現代アート作品周辺のおもてなし施設（デジタル交流ギャラリー）の充実 ②商店街周辺事業者と連携した周辺地域で利用できる第3次交通手段のレンタルサービスの導入 2. 鶴川商店街周辺環境活性化構想事業 7250千円 ①鶴川商店街内の現代アート作品の集積化 ②商店街周辺の観光・宿泊施設におけるテレワーク（ワーケーション）商品の開発 3. スローツーリズム構想事業 7800千円 ①アートを軸に3密を避けた滞在型プログラムの開発 4. 地場商品×地域資源による商品開発・特産ブランド開発 10700千円 ①地域資源を活用した新商品開発（お土産品など） ハード事業 10,985千円 デジタル交流ギャラリーカフェ整備事業 カフェ工事 2,200千円 カフェ備品購入 878千円 デジタル交流ギャラリー備品 1,067千円 チャレンジショップ厨房整備事業 厨房備品購入 4,035千円 備品購入 1,015千円 総事業費 42,985千円	事業の継続	引き続き、大分空港の利用客、九州圏内の観光客等を新たに国東市に呼び込む新たな魅力を国東市の中心部（鶴川地域周辺部）に構築していくことに努める。	地方創生に概ね効果的であった	特に意見なし	
2	商店街拠点化を核とした歴史と現代アートが織りなすCREATIVEオフィス整備事業 ○令和4年度地方創生テレワーク推進事業	活力創生課	R5.4～R6.3	令和4年度に大分空港の利用客、九州圏内の観光客等を新たに国東市に呼び込む新たな魅力を国東市の中心部（鶴川地域周辺部）に構築するため、その象徴となる拠点施設に雇用を創出するサテライトオフィスの機能を整備した。その整備した拠点市越の運営管理を行うもの。 【事業期間（補助）】 ○補助事業無し、年度毎に更新。	6,787,000	サテライトオフィス等施設利用企業数	2	社	R6.3	3	地方創生に相当程度効果があった	施設の運営管理事業 6,787千円	事業の継続	施設の運営管理業務を担う指定管理者と連携して、県の事業などを活用して県外企業の誘致及びコワーキング等の施設資料者の増加を図る。	地方創生に概ね効果的であった	特に意見なし	
3	現場監督を支援する「建設業テレワーク外注サービス」開発事業 ○令和5年度地方創生テレワーク推進事業	活力創生課	R5.4～R6.3	旧古城医院を改修して整備したテレワーク施設への進出企業の獲得と、当該進出企業が市内企業と連携する事で新たな雇用の創出や地域経済の活性化に寄与する事を目的に、デジタル田園都市国家構想交付金デジタル実装タイプ(地方創生テレワーク型)を活用して、進出企業及び市内連携企業の支援を行う。 【事業期間（補助）】 ○地方創生テレワーク推進事業：令和5年度 【内容】 サテライトオフィスへ進出してきた企業と地元企業が連携して行う事業に対して補助金を交付する。	30,000,000	説明会参加企業数（目標数値）	10	社	R6.3	10	地方創生に相当程度効果があった	現場監督を支援する「建設業テレワーク外注サービス」開発事業 30,000千円が補助上限で、補助率 3/4	事業の継続	サテライオフィスに進出してきた企業が、国東市へ定着する様に、今後も情報提供などの支援を行う。	地方創生に概ね効果的であった	特に意見なし	